

ハリーン通信 Vol. 26



不法投棄を許さない地域づくり

不法投棄防止地区の活動紹介 ～多可町加美区山寄上地区～ …… P. 2

廃棄物エコ手形を活用した不法投棄物撤去作業 …… P. 3

環境学習の取り組み

平成30年度グリーンスクール奨励賞受賞



小野市立下東条小学校 …… P. 4

市町の取り組み



小野市『子ども環境出前講座』 小野市立来住小学校 …… P. 5

団体の取り組み



兵庫県行政書士会東播支部
法教育出前授業『コスモスのたね。』 加東市立鴨川小学校 …… P. 6

令和元年度ひょうご環境保全連絡会北播磨支部 総会・研修会 …… P. 7

『エコバッグを作ろう』 北播磨地域地球温暖化防止活動連絡会

お知らせ



ふれあいの祭典 『ふれあいフェスティバル in 北播磨』 …… P. 8

ハリーン通信がインターネットで見られます
ハリーンを着ぐるみを貸出しします



令和元年9月13日発行 兵庫県北播磨県民局 県民交流室 環境課

〒673-1431 兵庫県加東市社字西柿1075-2

TEL: 0795-42-5111 (内線341) FAX: 0795-42-7535

H P : http://web.pref.hyogo.jp/area/n_harima/index.html

ハリーン通信では、みなさんからの投稿、ご意見、ご感想をお待ちしています！
ぜひ、事務局までお寄せください！





不法投棄防止地区の紹介 ～多可町加美区山寄上地区

やまよりかみ

多可町加美区山寄上地区は、北播磨地域の北部、加古川の支流杉原川の最上流域に位置します。地区内を丹波市に通じる国道427号が通り、1300年の伝統を持つ兵庫県の重要無形文化財で、伝統的工芸品にも指定されている杉原紙の研究所や道の駅「杉原紙の里・多可」が近くにあります。

この地区は、平成元年に加美区のトップを切って、杉原川にきれいな水を流すため生活排水の浄化事業に取り組み、全戸に浄化槽を設置するなど、環境保全に力を入れてきました。



山に接近した川上の土地から『山寄上』^{やまよりかみ}とされています。(多可郡誌)



むらとまちの交流事業で『さつまいも堀り体験』を行っています。地区の方が作業をされていました。

10年ほど前までは、山間の死角になっている場所に不法投棄された家電製品や、公園に捨てられたゴミを、地域住民が見つけた時に撤去していました。

その後、クリーンキャンペーンや老人会の方々の公園清掃活動で不法投棄は無くなり、今ではせせらぎ公園は美しい憩いの場所になりました。

「ゴミの無いきれいな所には、心理的にも物を捨てたりしないでしょ。2ヶ月に1度、清掃活動を続けてくれている老人会の皆さんには本当に感謝しています。」と話す藤田区長。

地区内の手入れのされた森林や清らかな水の流れる杉原川を見て、住民の方々の環境保全に対する意識の高さが感じられました。



地区内にある『せせらぎ公園』。清掃が行き届き美しい公園です。



国道427号の道脇や、死角になる場所に不法投棄防止の看板を立てています。





廃棄物エコ手形を活用した不法投棄物撤去作業



廃棄物 エコ手形制度 とは

廃棄物エコ手形制度とは、管理者が不在の土地に不法投棄又は不適正処理され、地域の生活環境に支障をきたしている廃棄物を、あらかじめ「廃棄物エコ手形登録業者」として登録した産業廃棄物処理業者等と地域住民、及び行政がボランティアで協働して撤去（処分）し、併せて再発防止策を講じることを目的とした制度です。

現在、北播磨県民局管内では 39 社が登録されています。



平成 31 年 1 月 30 日、地域から要請があった小野市久保木町地区で廃棄物エコ手形制度による廃棄物の撤去が実施されました。

現場は地区内のため池横で、廃家電・廃タイヤ・金属くず・木くず・コンクリートガラ・廃プラスチックなど、蓄積された廃棄物は小竹や草に覆われ小山状態になっていました。



当日は手順説明のあと、産業廃棄物処理業者の皆さんが大型重機などで廃棄物の小山を崩して撤去。

また、久保木町の住民の方々、小野市と県民局環境課の職員が、小型の廃棄物（ペットボトル・紙くず・家電類など）を市の収集車に積み込み撤去しました。



約 2 時間の作業で、とてもきれいになりました。



久保木町の住民の方々は「50 年ぶりにきれいになりました。ありがたいことです。前には、違うため池のところに畳をたくさん不法投棄されて、それも行政の方々に撤去をお願いしました。本当に感謝しています。」と話されていました。

参加者

（一社）兵庫県産業資源循環協会東播支部、大栄環境株式会社、株式会社姫路環境開発、株式会社ダイセン、小野市久保木町住民、小野市・北播磨県民局の各職員





恵まれた周囲の自然環境を生かし地域の自然に触れ、その魅力を知る取組み～小野市立下東条小学校



下東条小学校は、田畑や里山に囲まれ、日本の疏水 100 選に選ばれている東条川疏水が近くを通る、自然環境に恵まれた場所にあります。

地域の自然を生かし、その魅力に迫る活動として、3年生が大豆を種から育て、収穫や調理をしたり、春と秋に近くの里山を散策し、季節ごとの動植物の観察や、東条川への鮎の稚魚の放流などを行っています。その活動の中から「大豆の種まき」と「鮎の稚魚の放流」活動を紹介します。

大豆の種まき



JAひょうごみらい 小野営農生活センターより3名の方が来られ、初めに大豆についてお話を聞きました。

大豆は大いなる豆。りっぱで大きい豆という意味で、中国からきたものといわれていること。そして、大豆で出来ている食べ物、日本で大豆をたくさん作っている都道府県、世界で大豆をたくさん作っている国などを教えてもらいました。

そのあと種のまき方を聞き、200 近くのポットに種をまきました。冬に大豆として収穫します。



稚鮎の放流



下東条小学校から、徒歩で15分。下東条コミュニティセンター下の東条川に到着しました。同じ頃、となりの中番小学校の3年生も到着。今日は2つの小学校が一緒に活動します。

始めに、加古川漁業協同組合 久後副組合長から、「鮎はきれいな水の川でしか育たないので、びん・缶・ビニールなど川にごみを捨てないこと。放流する時は水の中に手を入れて水温と同じ冷たさにしてから鮎を触ること。」など、環境保全と放流時の注意を聞きました。

今回は、加古川漁業協同組合が5000匹の稚鮎を用意。バケツに稚鮎を入れてもらい、みんなで大事に川まで運びました。ピチピチはねる鮎に驚き、手でバケツに蓋をしたり「初めて魚をさわった。」とうれしそうに話す児童もいました。そして、鮎の成長を願いながら、東条川に放流しました。

加古川漁業協同組合をはじめ、青少年補導委員、青少年センター職員など地域のみなさんの協力で、安全で楽しく活動ができました。

このような活動を続けていることで『鮎が住む水のきれいな東条川』が保たれていることを子ども達は体験を通して学びました。



下東条小学校は、このような恵まれた地域の自然を生かした取組みで、平成 30 年度グリーンスクール奨励賞を受賞しました。



市町の取り組み



小野市『子ども環境出前講座』 小野市立来住小学校

ハリーンも
参加したよ



平成31年3月、小野市立来住小学校で「子ども環境出前講座」が開催されました。この講座は、小野市が環境啓発施策の一環として、子どもたちに家庭から出るゴミについて関心を持ってもらうことを目的に、教育委員会や小学校と連携して実施している事業です。北播磨県民局環境課「ごみゼロ北播磨！」マスコットキャラクター「ハリーン」も参加し、前半は市内から出る市民一人あたりのゴミの排出量や、ゴミの分別方法などを小野市の職員がクイズ形式で説明し、子どもたちは楽しみながらゴミの減量化を学びました。



後半は、小野市花のひまわり柄ラッピング^{じんかい}塵芥車を見学。車の仕組みの説明を聞いたり、動く様子を見たり、実際にゴミ収集体験をしました。

毎日、塵芥車でお仕事されている方の話を聞くことで、子ども達はゴミについてより身近に感じ、関心が持てたようでした。



ごみを入れてみました

「小野市では小野市コミュニティバス（らんらんバス）のひまわり柄と同じラッピングを施した^{じんかい}塵芥収集車を昨年度2台導入しました。「見つけたらラッキーです。」とお話がありました。



ハリーンと握手会

小野市「子ども環境出前講座」は、ごみ減量化の推進だけに限らず、地球温暖化防止や食品ロス、不法投棄防止対策など、環境保全に関わる様々な内容を、幅広い年代の方を対象として、実施しています。小野市ではこれからも継続していきたいと考えています。



団体の取り組み



法教育出前授業『コスモスのたね。』

～兵庫県行政書士会東播支部～

加東市立
鴨川小学校

兵庫県行政書士会東播支部では、社会貢献事業の一環として、地域の小中学校を訪問し、子ども達に「法」を身近に感じてもらうため『コスモスのたね。』と称した出前授業を実施しています。

平成31年1月30日、加東市立鴨川小学校で、5・6年生7名が参加し『環境を守るための決まり』をテーマとした授業が行われました。支部会員の方4名が、リレー方式で講師を務めました。

始めに、身の回りにたくさんある「きまり（ルール）」。学校や家庭でのきまり、自転車の乗り方など子ども達が知っている「きまり」を考えてみることにしました。

次に、鴨川小学校のまわりや、加東市役所周辺の昔と今の航空写真を見比べて、環境が変化していることや、鴨川の魚の種類が減少していることを学びました。

さらに、森林開発や宅地化などによる環境破壊を防止するための法律があることを紹介。厚みのある『環境六法』の冊子を子ども達に見せて、廃棄物処理法の「環境を守るための条文」を読みあげました。



最後はグループワークです。講師も中に入り、普段行っている自然保護など、環境を守るための取組について、その内容と目的を話し合いました。そして、話し合ったことをグループごとに発表。



不法投棄をしない→自然や環境を守るため。ゴミをひろう→イメージを良くするため。エコバッグを使う→資源の無駄遣いをしないため。油を固める→自然を汚さないため。新聞をリサイクルする→再利用するため。子ども達は、怒られたり、罰があったりするから「きまり」を守るのではなく、目的や理由があるから「きまり」や「法律」があることを学びました。

鴨川小学校では、全校児童が「ふるさと学習」を大切に、地域の伝統文化をつなげていく取組や、鴨川の自然（動植物）について、そして鴨川のゴミ問題について学習しています。

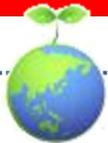


今回の出前講座は、リレー方式で講師が代わったり、写真や表を資料に入れたり、プロジェクターや黒板を使ったり、グループワークの時間を持つなど、内容を工夫され、限られた時間内で楽しく授業をされていました。普段は接することが少ない分野の方々からのお話で、子ども達にとっても、より興味深く、さらに環境への意識を高めるものとなりました。

東播支部として、今後も出前授業を継続していきたいとのことでした。



団体の取り組み



令和元年度 ひょうご環境保全連絡会 北播磨支部 総会・研修会



令和元年7月5日、ひょうご環境保全連絡会北播磨支部の令和元年度総会が北播磨県民局で行われ、平成30年度に実施した先進地視察や普及活動の結果報告、令和元年度に予定している事業計画などが承認されました。

その後、関西電力大飯発電所（福井県）での研修会を行いました。

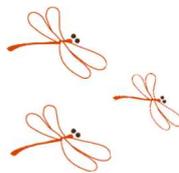
見学に先立ち、バスの中や未来体感ミュージアム「エルガイアおおい」で、エネルギーや原子力発電の仕組みについて学びました。また、暮らしの中で安心してエネルギーを使うことが出来るように、原子力発電所における安全対策や、将来に向けての考え、取組みを聞きました。

事前学習の後、いよいよ大飯発電所の見学です。

発電所の入り口ゲートでは、厳しいセキュリティチェックがありました。そして、バスを乗り換えて見学に出発しました。

中を見学出来ない所は VR ゴーグルを着用して、様子を知ることができました。

暮らしのエネルギーを支える大飯発電所での研修は、貴重な体験となりました。



『エコバッグを作ろう』 北播磨地域地球温暖化防止活動連絡会

北播磨地域地球温暖化防止活動連絡会の会員が講師になり、『エコバッグを作ろう』という講座が開かれました。昨年に引き続いて2回目の開催です。

「前回も参加しました。今日はお友達を誘って来ました。」と楽しみにされていた方もおられました。



講師の指導の下、身近にある新聞紙5枚を組み合わせて手際良く作られていきました。

「毎日、新聞の広告の模様や色をチェックして、エコバッグに使えるものをキープしています。」「お友達がそのバッグいいね。というのでたくさん作ってプレゼントしています。」など、みなさん楽しんで作っていました。丈夫で、すてきな作品が数多く出来上りました。

北播磨地域地球温暖化防止活動連絡会は、このような公開講座や、環境ツアー、管内市町のイベントでのエコチェックなど様々な活動をしています。ぜひ、一度ご参加ください。



お知らせ

ふれあいの祭典

開催されます



ふれあいフェスティバル in 北播磨



令和元年10月26日(土)、27日(日) 会場: 県立三木総合防災公園

おいしい!たのしい!北播磨の魅力発見!
自慢の食や地産産果、華やかで多彩なステージイベントをみんなで楽しもう!

ふれあいフェスティバル in 北播磨
令和元年 10月26日(土)・27日(日)
開催時間/10:00~18:00 (雨天決行)
会場/県立三木総合防災公園 (三木市東部三木1702)
北播磨「農」と「食」の祭典

お問い合わせ: 北播磨ふるさと推進委員会事務局
北播磨ふるさと推進課 TEL: (0795) 43-8346
北播磨ふるさと推進課 TEL: (079) 862-3663

地域の魅力発信と県民の交流の場として、毎年、県下各地域を持ち回りで開催している「ふれあいフェスティバル」。

今年の“ふれあいフェスティバル”は北播磨「農」と「食」の祭典と一体的に県立三木総合防災公園で開催されます。

北播磨の「農」と「食」をはじめ、県内各地の特産品やご当地グルメを味わい、伝統工芸やエコなどについて楽しく体験できるコーナーなど約 200 張のブースの出展を予定しています。

さらに、北播磨地域に伝わる伝統芸能の披露や、県内各地の出演者によるダンスや楽器演奏などの多彩な演目で盛り上げるステージを予定しています。

同時開催イベントとして「ひょうごエコフェスティバル」や、消防・警察・自衛隊の訓練等を披露する「広域防災センター実戦デモ」も予定されております。

みなさまのご参加をお待ちしています。



ハリーン通信がインターネットで見られます
ハリーンの着ぐるみを貸出します



平成17年の創刊号から、最新の26号までのハリーン通信をインターネットで見ることができます。ぜひ、ご利用ください。

①インターネットの検索サイトを立ち上げ、「北播磨県民いきいき情報」と入力し検索

②画面右側の分野別情報の『環境』をクリック

③『北はりまエコニュース ハリーン通信』をクリック

④見たい号数の文字をクリック

また、ハリーンの着ぐるみを貸出しています。

イベント等でご活用ください。

詳細は北播磨県民局県民交流室環境課まで。



北はりまエコニュース
ハリーン通信 Vol. 25

不法投棄を許さない地域づくり
不法投棄防止地区の造成状況 ～三木市西農地区～
不法投棄防止監視カメラ設置状況 ～加西市やしろ台地区～

環境学習の取り組み 団体の取り組み
ホントにゴミ? ゴミからお宝発見! リサイクルフェアに出かけよう
ひょうご環境保全連絡会北播磨支部 研修表

環境学習の取り組み
県立三木山崎科公園で環境体験学習 加西市立南小学校
環境 加西市立南小学校
特定非営利活動法人 三木自然愛好会の活動紹介 理事長 北村 謙 さん

おすすり! 北播磨の自然
滝水 東栗根 立杉 南自然公園 播州滝水寺へ!

環境保全の取り組み 市民の取り組み お知らせ
『水辺を美しくする運動啓発ポスターコンクール』を実施しています
加西市が主催の「世界自然遺産(日本)」に署名しました
ハリーン通信がインターネットで見られます

平成19年9月1日発行 北播磨県民局環境課 編集・発行 環境課
〒673-0431 北播磨県民局環境課 TEL: 079-2
TEL: 0795-42-5111 (内線341) FAX: 0795-42-7535
HP: http://web.pref.hyogo.jp/area/har/line/index.htm
PDFダウンロード、お申し込みの受付、ご意見、ご感想をお待ちしています。
PDF、印刷用紙でお使いください!